

件名 1 公園管理業務の改善について。

要旨 1 地域では高齢化もあり、自治会活動の担い手不足が課題になる中で、公園機能を維持するために自治会清掃等で草刈りをしている自治会があります。

- (1) 自治会が公園の草刈りを行っている実態を把握していますか。
- (2) 自治会に負担をかけることがないよう公園管理業務の改善を行ってください。

件名 2 物価高騰から市民と地元事業者を守れ。

要旨 1 経営不振と労働者不足から旧金剛バスが撤退し 4 市町村（富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村）の住民に多大な負担と不安がのしかかっています。市民と公共交通事業者を相乗的に応援する施策展開を。

- (1) 過去 3 年間で、公共交通事業者に直接支出した給付金と、高齢者おでかけチケットの使用料として支払ったそれぞれの額は。
- (2) 高齢者おでかけチケットを増額して市民と事業者双方の支援を。

件名 3 国の「みどりの食料システム戦略」を推進し、学校給食食材を地産地消・大阪エコ農産物・オーガニック農産物に。「みどりの食料システム戦略」では、化学農薬・化学肥料を低減し、有機耕作面積の拡大をすとして、1. 調達、2. 生産、3. 加工・流通、4. 消費の項目で具体的取り組みを掲げています。

要旨 1 有機農産物の販売店などとタイアップしながら市民や農家向けに有機農業についての啓発活動を。

要旨 2 遊休農地の活用を。

- (1) 現在の遊休農地の状況は。
- (2) 有機農業を推進するうえで、既存営農地域とのゾーニングを行うとともに、貸農園などへの活用を。
- (3) 低及び無化学の農薬・肥料で栽培している農家さんへの意見聴取による現状把握を。

(4) 小中学校給食で1年間に必要な米を栽培するために必要な耕作面積は。

要旨3 持続可能な地場産物や国産有機農産物等を学校給食に導入する取り組みの推進を。

(1) 農林課及び教育委員会で情報共有や連携を強化し、同じく前進していただけるようにしてください。

(2) 市教育委員会は地場産物や有機農産物の使用状況をリアルタイムに学校に知らせ、食育に活かしていくべきではないでしょうか。

(3) 小ロットで納品された地場産物および有機農産物などを工夫して利用することで、センター方式でも食育に活かせるようにしてください。

(4) 第4次食育計画に位置付けられている「地産地消コーディネーター」の活用は。

要旨4 有機農業実施計画策定とオーガニックビレッジ宣言を。

(1) 国補助金を活用して事業推進を。

(2) 先進事例の研究状況は。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者